

信州大学医学部附属病院にて過去に肝細胞癌に対して肝動脈化学塞栓療法(TACE)を施行された患者様またはご家族の方へ放射線科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2018年2月8日

「肝細胞癌に対するリピオドールを用いた肝動脈化学塞栓療法と薬剤溶出性ビーズを用いた肝動脈化学塞栓療法との比較検討」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	3940
研究課題名	肝細胞癌に対するリピオドールを用いた肝動脈化学塞栓療法と薬剤溶出性ビーズを用いた肝動脈化学塞栓療法との比較検討
所属(診療科等)	放射線科
研究責任者(職名)	塚原 嘉典(助教)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2022年12月31日
研究の意義、目的	リピオドールを用いた肝動脈化学塞栓療法と薬剤溶出性ビーズを用いた肝動脈化学塞栓療法とを比較し、肝細胞癌に対する局所治療効果や有害事象などについてどちらが優れているかを明らかにすることを目的とした研究で、今後の治療における薬剤・塞栓物質の選択基準の目安になる可能性があります。
対象となる患者さん	2008年8月～2017年7月の期間に当院で肝細胞癌に対して肝動脈化学塞栓療法(TACE)を受けられた方
利用する診療記録／検体	診断名、年齢、性別、肝炎の原因、既往歴、現病歴、症状、身体所見、治療方法、血液データ、画像データなど
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、肝動脈化学塞栓療法と各種診療記録との関係性の有無について検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 塚原 嘉典(放射線科・助教) 電話: (0263)37-2650

既存の診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。